



# NPO法人道普請人

## Communication on Engagement

対象期間: 2015年11月～2017年10月

連絡先

NPO法人道普請人 理事 福林良典

E-mail: [info@coreroad.org](mailto:info@coreroad.org)

# 団体概要

所在地：京都府京都市下京区東塩小路向畑町20－13 プレザンス京都駅前502号

設立：2007年12月

理事長：木村 亮（京都大学大学院 工学研究科 教授）

理事数：9人

職員数：4人

会員数：158人，15団体（2016年度）

事業費（2016年度）：99,880千円

団体設立の背景および目的：

- 多くの開発途上国が農業国でありながら、農村インフラ（農道、ため池など）の整備が進んでいないことが貧困の一因となっている。「簡単な技術で途上国の人々を幸せにする」にはどうすればよいかを出発点に、本団体は日本の伝統技術「土のう」による道路整備手法を開発し、開発途上国の農民や若者に、地元の資材を活用し、自分たちで道直しができるよう技術移転を行う。
- 「開発途上国の問題は、現地に適したやり方で、そこに住む人々自身で解決していく」ことの実現を目指し、土のうによる道直しによる技術移転や苗木生産による環境問題への取り組みを展開する。

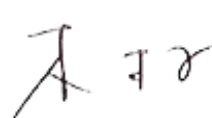
# 理事長による継続支持表明

NPO法人道普請人は、2013年4月23日にグローバル・コンパクトに市民団体として加盟しました。

引き続きグローバル・コンパクト10原則を支持し、自身の団体運営にも活かして参ります。広報活動の一環で、グローバル・コンパクトやその原則について、周知を図ります。

今後もグローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワークに従事します。分科会の講習会などに参加し、企業との情報交換を通して当団体の貢献について考察し、実践して参ります。

企業の環境に関する提携プロジェクトに、具体的活動案の提案をし実行します。



署名

木村 亮 (Makoto Kimura)

理事長 Chairman of Board

2017年10月29日

# グローバル・コンパクト10原則

人権 企業は、

原則1: 国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、

原則2: 自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。

労働基準 企業は、

原則3: 組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持し、

原則4: あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、

原則5: 児童労働の実効的な廃止を支持し、

原則6: 雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。

環境 企業は、

原則7: 環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、

原則8: 環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、

原則9: 環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。

腐敗防止 企業は、

原則10: 強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。

# 市民団体への推奨活動進捗・成果・計画-1

グローバル・コンパクト・ローカル・ネットワークに従事すること		
進捗	成果	今後の計画
<ol style="list-style-type: none"><li>1. ジャパン・ネットワークに参加</li><li>2. 関西分科会への参加</li><li>3. インクルーシブ・ソーシャルビジネス分科会への参加</li></ol>	<ol style="list-style-type: none"><li>1. メーリングリストで提供される情報より、世界的、国内での動向を把握できた。</li><li>2. 企業との交流の場を持つことができた。</li><li>3. 分科会、ある企業で当団体活動を紹介した。</li></ol>	ジャパン・ネットワーク、防災・減災分科会への参加を継続。

# 市民団体への推奨活動進捗・成果・計画-2

企業のサステナビリティに関する提携プロジェクトに参加または提案すること		
進捗	成果	今後の計画
<p>以下に示す企業の助成プログラムへ事業提案、助成を得て事業実施。</p> <p>トヨタ環境活動助成プログラム (2015-2017) 三井住友銀行ボランティア基金 (2017)</p>	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 開発途上国の草の根での環境保全に貢献することができた。</li><li>2. フィリピンにて渡河構造物を建設し、増水時にも現地の人々が安全に川を渡れるようになった。</li></ol>	<p>企業の環境に関する提携プロジェクトに、引き続き提案、実行する。</p>

農村部の貧困に苦しむ人々の  
やる気と自信を引き出すために

「自分たちの道は自分たちで直せる」

という意識を広げたい

## 2015 年度上期活動概要



コートジボワール



みちぶしんびと  
NPO 法人 道普請人

## 2015 年度上半期活動内容

主な活動	2015					
	4	5	6	7	8	9
<b>ケニア</b>						
外務省H26年度NGO連携無償資金協力事業(木村、喜田、本庄)						
トヨタ環境活動助成、環境保全プロジェクト(木村、喜田、本庄)						
<b>ルワンダ</b>						
農道整備と環境保全型農業普及による農村コミュニティ開発(木村、喜田、福林、本庄)				—	—	
<b>ブルキナファソ</b>						
外務省H26年度NGO連携無償資金協力事業(木村、森重、大東、酒井)	—	—	—	—	—	—
<b>ザンビア</b>						
NPO法人TICOと連携したコミュニティ参加による橋梁架設事業(木村、大東)			—	—		
<b>タンザニア</b>						
在タンザニア日本国大使館草の根事業・事前調査(木村、酒井、田川)					—	—
<b>ミャンマー</b>						
外務省H26年度NGO連携無償資金協力事業(木村、酒井、田中、堀内、田川)						
<b>バングラディッシュ</b>						
総合的農村開発事業における農道整備(木村、大東)						—
<b>フィリピン</b>						
有機・減農薬野菜の販路促進プロジェクトにおける渡河部対策工建設(木村、福林)	—					—
<b>コートジボワール</b>						
国内研修で関心を示した政府関係者の要請を受け、現地での土の工法の紹介(木村、大東)					—	

### 助成事業等

**事業名：**若者グループに対する持続的な雇用創出と自立支援に向けた「土のう」による道路補修事業(第1フェーズ)

資金協力団体：外務省、平成26年度日本NGO連携無償資金協力

事業期間：2014年11月から2015年11月(ケニア)

**事業名：**ケニア、バリンゴ山間地の農民グループによる樹木苗木作りと「土のう」を使った土壌保全

助成団体：「トヨタ環境活動助成プログラム」2013年度

事業期間：2014年1月から2015年12月(ケニア)

**事業名：**農民組織の持続的な活性化に向けた「土の工法」を用いた農道改築事業

資金協力団体：外務省、平成26年度日本NGO連携無償資金協力

事業期間：2014年10月から2015年10月(ブルキナファソ)

**事業名：**コミュニティ参加による農道や道路構造物整備事業

資金協力団体：財団法人日本国際協力財団

事業期間：2015年4月から2016年3月(バングラディッシュ、フィリピン)

**事業名：**住民の道路整備能力及び橋梁建設技術強化による農道改築事業

資金協力団体：外務省、平成26年度日本NGO連携無償資金協力

事業期間：2014年10月から2015年10月(ミャンマー)

**事業名：**農道整備と環境保全型農業普及による農村コミュニティ開発

資金協力団体：財団法人日本国際協力財団

事業期間：2015年4月から2016年3月(ルワンダ)

**事業名：**東ティモール国立大学工学部能力向上プロジェクト

資金協力団体：(独)国際協力機構

事業期間：2014年5月から2016年3月(東ティモール)



主な広報活動

日程	内容
8月21日	木村理事長がコートジボワールにて同国内務省行政官、市長らと今後の道路整備について会談し、その様子が国営テレビ RTI で放送されました。
8月22日	土木学会主催『市民普請大賞 全国交流会議 2015』で福林理事が活動報告、パネルディスカッションの討論者として参加しました。
9月11日	福林理事がパプアニューギニアでのアジア開発銀行 NGO 連携センター主催のフォーラムで現地で行った事業成果について発表しました。
9月12日	JICA 関西、(公財)京都府国際センター主催の「国際協カステーション」に出展しました。

活動報告  
ケニア

- 1. 雇用促進と未舗装道路整備につながるよう、総勢 627 名の若者に土のう工法の技術移転を行いました。
- 2. 当法人の研修を受けた若者グループ代表が選拔され、ケニア政府出資の道路維持管理研修を受講しました。労働集約工法、土のう工法習得者として認証され、公共事業受注の基盤が整いました。
- 3. 環境保全型農業の普及・定着を目指し、農民組織が継続し苗木生産活動ができるよう販路獲得に力を注いでいます。



土のう技術訓練



苗木を生産する農民組織

ルワンダ

若者や農民組織に対して農道整備と苗木生産・管理の技術移転を行いました。



土のう技術訓練実施風景



足踏ポンプでの、苗木に水やりの様子

ミャンマー

エーヤワディー地域、カレン州、ネピドー地域の道路補修、橋梁建設工事が全地域無事終了しました。今後継続して維持管理ができるよう、コミュニティ組織強化研修、道路維持管理計画研修を行っています。



建設した橋梁の開通式の様子



道路維持管理計画研修の様子

ブルキナファソ

- 1. 西部の事業地の村で住民組織「アンカバラケ」(“さあ、働くぞ”の意味)が結成されました。彼らがさらに道路整備を進められるよう、技術研修をしています。
- 2. 事業地近くの都市、バンフォラ市では市行政と共同で市内道路2ヶ所合計 600 mを土のう工法を用いて整備を行い、雨季に通行が困難になる市内の道路状況が改善されました。バンフォラ市役所では今後自力で土のう工法を用いて市内道路整備を進める方針が立てられ、土のう工法の普及、未舗装道路の整備が進むことが期待されています。



雨季の施工道路の様子



バンフォラ市での道路整備

エチオピア

アジスアベバ科学技術大学と連携し、ブラックコットンソイルの広がる構内で歩道を建設しました。敷石舗装の路盤に、土のうが利用されました。



施工中の様子

コートジボワール

内務省行政官や全国市長らに土のう工法を紹介し、未舗装道路整備施策について協議しました。大きな関心を得て、2016 年度に土のう工法のパイロット工事を実施予定です。



政府関係者との会議後集合写真

バングラディッシュ

昨年度粘性土地盤上で廃レンガと土のうを用いて住民と整備を行った道路の、雨季の状況を確認しました。整備効果が確認され、今後住民グループにより他地域の道路改修が行われる予定です。



施工前（雨季時）



施工後（雨季時）

施工延長(2015 年 9 月末日現在)

	累計(m)	2015 年度 上期 (m)
ケニア	26,910	1,425
ルワンダ	100	80
ブルキナファソ	1,945	760
ミャンマー	11,040	1,220
コートジボワール	30	30
エチオピア	30	30
その他（バングラディッシュ、ザンビア、 フィリピン、パプアニューギニア、タンザニア、他）	131,903	0
合計	135,448	3,545

会員数情報(15 年 9 月末時)

正会員個人	75
正会員団体	14
賛助会員個人	69
賛助会員団体	5
寄付者	49

問合せ先

NPO 法人 道普請人  
事務局：福林良典  
Tel: 075-343-7244  
E-mail: info@coreroad.org  
URL: <http://coreroad.org/>



## 2015 年度下半期活動内容

主な活動	2015			2016		
	10	11	12	1	2	3
<b>ケニア</b>						
外務省H26・27年度NGO連携無償資金協力事業(木村、喜田、本庄)						
トヨタ環境活動助成、環境保全プロジェクト(木村、喜田、本庄)						
JICA、地方分権下における小規模園芸農民組織強化・振興プロジェクト(木村、福林)						
<b>ソマリア</b>						
国際労働機関、帰還難民のための生計支援プロジェクト(喜田、本庄)						
<b>ブルキナファソ</b>						
外務省H26・27年度NGO連携無償資金協力事業(木村、森重、大東、酒井)						
<b>エルサルバドル</b>						
道路維持管理基金との連携による土のう工法普及活動、調査(福林)						
<b>パラグアイ</b>						
横浜国立大学、ミタイ基金との連携による土のう工法普及活動、調査(木村)						
<b>ミャンマー</b>						
外務省H26・27年度NGO連携無償資金協力事業(木村、酒井、田中、堀内、田川)						
<b>東ティモール</b>						
JICA、東ティモール国立大学工学部能力向上プロジェクト(福林)						

## 助成事業等

**事業名：**若者グループに対する持続的な雇用創出と自立支援に向けた「土のう」による道路補修事業(第1、2フェーズ)

資金協力団体：外務省、平成26・27年度日本NGO連携無償資金協力

事業期間：2014/11月～2015/11、2015/11～2016/11(ケニア)

**事業名：**ケニア、バリンゴ山間地の農民グループによる樹木苗木作りと「土のう」を使った土壌保全

助成団体：「トヨタ環境活動助成プログラム」2013年度

事業期間：2014年1月から2015年12月(ケニア)

**事業名：**次世代に資源を残すために地域で取組む東アフリカ最大のマウ天然自然林保全プロジェクト

助成団体：「トヨタ環境活動助成プログラム」2016年度

事業期間：2016年1月から2017年12月(ケニア)

**事業名：**コミュニティ参加による農道や道路構造物整備事業

資金協力団体：財団法人日本国際協力財団

事業期間：2015年4月から2016年3月(バングラディッシュ、フィリピン)

**事業名：**農民組織の持続的な活性化に向けた「土のう工法」を用いた農道改築事業(第1、2フェーズ)

資金協力団体：外務省、平成26・27年度日本NGO連携無償資金協力

事業期間：2014/10月～2015/10、2016/2～2017/2(ブルキナファソ)

**事業名：**住民の道路整備能力及び橋梁建設技術強化による農道改築事業

資金協力団体：外務省、平成26・27年度日本NGO連携無償資金協力

事業期間：2014/10月～2015/10、2015/12～2016/12(ミャンマー)

**事業名：**農道整備と環境保全型農業普及による農村コミュニティ開発

資金協力団体：財団法人日本国際協力財団

事業期間：2015年4月から2016年3月(ルワンダ)

**事業名：**東ティモール国立大学工学部能力向上プロジェクト

資金協力団体：(独)国際協力機構

事業期間：2014年5月から2016年3月(東ティモール)

農村部の貧困に苦しむ人々の  
やる気と自信を引き出すために

「自分たちの道は自分たちで直せる」

という意識を広げたい

## 2015 年度下期活動概要



ソマリア



みちぶしんびと  
NPO 法人 道普請人

## 主な広報活動

日程	内容
10月8日	建設未来京都フォーラム主催のシンポジウム『建設未来京都フォーラム 2015』にて木村理事長が講演。
11月9日	国際地盤工学会第15回アジア地域会議のプログラムに道普請人の広告が掲載。
11月25日	福林理事が、エルサルバドルで道路維持管理基金第四回全国大会で土のう工法を紹介。
12月5日	COP21、アフリカパビリオンサイドイベントで土のうを利用した農道整備手法を紹介
12月17日	福林理事が同志社大学大学院、グローバルリソースマネジメントプログラムのキャリア形成支援セミナーで講演。
2月1日	国際開発ジャーナル 2月号に木村理事長の記事が掲載。

## 活動報告

### ケニア

ケニア国内4つの郡(日本の県に相当)で、雇用につながる技能として土のう工法を若者グループに研修する事業が始まりました。訓練現場に、木村理事長と岸田副理事長の訪問もあり、現場の土気も高まっています。

(2014・15年度 外務省・日本 NGO 連携資金協力)



木村理事長(右端から3人目)、喜田副理事長(前列左から2人目)と若者達



岸田副理事長(最前列中央)、喜田副理事長(最前列左端)、本庄職員(後列左端)と若者達



トヨタ環境活動助成プログラムの助成を受け、新たに2016年1月から東アフリカ最大のマウ天然林保全に取組み始めました。

### ソマリア

ソマリアの帰還民(ケニアに難民として退避していたが、今は帰国している)とソマリの技術者を対象に、土のう技術訓練を行いました。(国際労働機関(ILO)ソマリアとの協働事業)



研修を受けたソマリア帰還民の人々



土のうの締め固め作業中

### ブルキナファソ

バンフォラ、ボボデュラツソ地域・合計5カ村にて周辺住民を対象とした道路補修工事研修が開始されました。昨年度の工事によって雨季中の道路状況が劇的に改善され、土のう工法技術への期待が高まっています。(2015年度 外務省・日本 NGO 連携無償資金協力)



住民会議の様子



研修中の様子

### ミャンマー

エーヤワディー地域、マグエ地域、シャン州・合計4カ村で新たな道路補修工事研修が開始されました。(2016年度 外務省・日本 NGO 連携無償資金協力)



エーヤワディー地域・僧侶が見守る中、夜間まで道路補修作業に励む住民達。



シャン州・施工前の様子。山岳地帯で坂道が多い。チェーンをタイヤに巻き付けた車両が通行を試みるが、本格的な雨季にはその車両でさえも通行不能となる。

### エルサルバドル

日本で木村理事長の講義を聞いた道路維持管理基金職員から要請を受け、福林理事が同団体第四回全国大会で土のう工法紹介のための講演を行いました。



講演の様子



1/2 土のうで締め固め作業を実演

### スタディーツアー

2016年春季・スタディーツアーをミャンマーで実施致しました。



子供達の似顔絵を描く参加者



地元住民との交流

## 施工延長(2016年3月末日現在)

	累計(m)	'15年度下期(m)
<b>ケニア</b>	24,498	519
<b>ソマリア</b>	721	634
<b>ブルキナファソ</b>	2,765	820
<b>ミャンマー</b>	14,205	3,165
<b>パラグアイ</b>	20	20
<b>その他(バングラディッシュ、 ハニアニューギニア、タンザニア、他)</b>	95,466	0
合計	137,675	5,158

## 会員数情報(16年3月末時)

正会員個人	84
正会員団体	15
賛助会員個人	75
賛助会員団体	5
寄付者	55

## 問合せ先

NPO 法人 道普請人  
事務局: 福林良典  
Tel: 075-343-7244  
E-mail: info@coreroad.org  
URL: <http://coreroad.org/>



農村部の貧困に苦しむ人々の  
やる気と自信を引き出すために

「自分たちの道は自分たちで直せる」

という意識を広げたい

## 2016 年度上期活動概要



(C) UNDP TOKYO

国連開発計画・親善大使、紺野美沙子氏が土のう工法を体験（ケニア）



認定 NPO 法人 **道普請人** みちぶしんびと

## 2016 年度上半期活動内容

主な活動	2016					
	4	5	6	7	8	9
<b>ケニア</b>						
外務省 H27 年度 NGO 連携無償資金協力事業（木村、喜田、本庄、深田）						
トヨタ環境活動助成、環境保全プロジェクト（喜田、本庄、深田）						
日本人学校前道路補修工事（木村、喜田、本庄、深田）						
<b>タンザニア</b>						
在タンザニア日本大使館草の根無償資金協力事業での道路改修施工監督（木村、酒井、田川、福林）		—				—
<b>ルワンダ</b>						
日本国際協力財団助成、農道整備の試験施工と環境保全型農業研修（木村、喜田、本庄、深田）				—		
<b>ブルキナファソ</b>						
外務省 H27 年度 NGO 連携無償資金協力事業（木村、森重、酒井、田川）						
<b>モザンビーク</b>						
ベンハ州にて寺子屋を運営する日本人と協力した農道調査（木村、酒井）	—					
<b>ミャンマー</b>						
外務省 H27 年度 NGO 連携無償資金協力事業（木村、酒井、田中、堀内、田川）						
日本国際協力財団助成、土のうを利用したため池、土壌流亡防止対策（木村、酒井、田中、堀内、田川）						
<b>フィリピン</b>						
他 NPO 実施外務省 H27 年度 NGO 連携無償資金協力事業で、専門家として農道橋部調査（福林）				—		
<b>パプアニューギニア</b>						
小島しょ部、ブーゲンビル自治州での事業形成に向けた現地調査業務（木村、福林）		—				
<b>国内</b>						
広報活動（木村、岸田、日下部、田中（稔）、瀧川、児島、福林、酒井、須摩谷）						

### 助成事業等

**事業名：若者グループに対する持続的な雇用創出と自立支援に向けた「土のう」による道路補修事業（第 2 フェーズ）**

資金協力団体：外務省、平成 27 年度日本 NGO 連携無償資金協力

事業期間：2015 年 11 月から 2016 年 11 月（**ケニア**）

**事業名：次世代に資源を残すために地域で取組む東アフリカ最大のマウ天然林保全プロジェクト**

助成団体：「トヨタ環境活動助成プログラム」2015 年度

事業期間：2016 年 1 月から 2017 年 12 月（**ケニア**）

**事業名：農民組織の持続的な活性化に向けた「土のう工法」を用いた農道改築事業 第 2 フェーズ**

資金協力団体：外務省、平成 27 年度日本 NGO 連携無償資金協力

事業期間：2016 年 2 月から 2017 年 2 月（**ブルキナファソ**）

**事業名：農道整備と環境保全型農業普及による農村コミュニティ開発**

資金協力団体：財団法人日本国際協力財団

事業期間：2016 年 4 月から 2017 年 3 月（**ルワンダ**）

**事業名：農村部における住民グループを対象とした未舗装道路整備能力強化事業**

資金協力団体：外務省、平成 27 年度日本 NGO 連携無償資金協力

事業期間：2015 年 12 月から 2016 年 12 月（**ミャンマー**）

**事業名：ミャンマー中央乾燥地帯における住民参加による土のうを利用した水土保全活動**

資金協力団体：財団法人日本国際協力財団

事業期間：2016 年 4 月から 2017 年 3 月（**ミャンマー**）

### 受賞しました！

- ケニアでの活動成果（2008 年から 2014 年）**をまとめた論文（「土のう工法の普及活動を通じた未舗装道路整備の BOP ビジネス化」福林、本庄、木村）が、平成 27 年度土木学会論文賞を受賞しました。
- 同じくケニアでの活動成果が、NPO 法人シビル NPO 連携プラットフォーム主催 CNCP アワード 2016、ベストプラクティス部門・最優秀賞を受賞しました。

## 主な広報活動

日程	内容
4月27日	インターネットニュース専門局ホウドウキョク、「外務省「日本のNGO支援」で道普請人のケニア・ソマリアでの活動が紹介されました。
7月15日	ビッグイシュー日本版第291号広告、Panasonic NPOサポートファンドの助成事例として、木村理事長インタビュー記事が紹介されました。
8月4日	国際開発ジャーナル8月号に団体紹介、福林理事と酒井職員のインタビュー記事が掲載されました。
8月30日	国際開発ジャーナル9月号「論説委員の視点」にアフリカ人材育成に関する木村理事長の論説が掲載されました。
9月3日	(一社)大阪青年会議所主催の「World Expo2016 心のつながりが世界を変える！」にブース出展しました。
9月11日	JICA 関西、(公財)京都府国際センター主催の国際協力ステーションで展示を行いました。

## 活動報告

### ブルキナファソ

道路盛土による道路補修工事が無事に終了しました。盛土に小規模堤防の機能を持たせ、雨水を集めため池とすることで、水利用も便利になりました。水不足に悩む村の解決策として本団体の技術がブルキナファソ政府からも注目されています。ウエ県・ペニ市



### タンザニア

急坂の続く道の補修(約550m)を地元住民とともに進めています。補修後は病人・妊婦の搬送が可能になります(在タンザニア日本国大使館 草の根無償資金協力事業、ムトワラ州)。



## ケニア

1. ケニア国内4つの郡及びナイロビ日本人学校前の道路で、雇用促進に有効な技能として、土のう工法をケニア若者グループに研修する事業を行いました。エンブ郡では郡政府と連携し、池の側を通る悪路を補修しました。(H27年度外務省・日本NGO連携無償資金協力)
2. 2016年1月から、東アフリカ最大のマウ天然林の保全事業を実施しています。(トヨタ環境活動助成プログラム)
3. 2016年8月、TICAD VI(第6回アフリカ開発会議)に参加するためケニア入りされた阪神高速道路(株)一行が、土のう工法研修を視察、参加されました。
4. ジョモケニヤッタ農工大学構内の道路にて、土木工学専攻の学生らに対する道路補修研修を実施しました。



エンブ郡



ナイロビ日本人学校前道路



マウ天然林保全事業で、苗木育成、研修の様子



### ルワンダ

北部ガケンケ県に於いて若者グループに対する土のう工法による農道整備研修を実施し、東部ブゲセラ県に於いて環境保全型農業研修を実施しました。



## ミャンマー



1. 行政もお手上げの泥濘化した農道の一部を試験的に補修しました。雨季でも通行性が保持されています。今後付近の道路補修工事に本団体の技術が使用される可能性が高まっています。シャン州・ペコン地区(外務27年度日本NGO連携無償資金協力)
2. 土のう技術を応用した「土のう垣」が、新たな土壌保全対策として注目されています。マグエ地域・シンバウウエ地区(公益財団法人日本国際協力財団)



## 施工延長(2016年9月末日現在)

	累計(m)	2016年度 上期(m)
<b>ケニア</b>	26,577	2,079
<b>ルワンダ</b>	170	70
<b>ブルキナファソ</b>	3,585	787
<b>ミャンマー</b>	18,187	3,982
<b>タンザニア</b>	1,166	370
その他(バングラディッシュ、ザンビア、 フィリピン、ハブアニューギニア、ソマリア、他)	95,374	0
合計	145,026	7,288

## 認定されました！

京都市より「運営組織及び事業活動が適正であり公益の増進に資する」と認定を受けました。  
当団体へのご寄付は税制優遇の対象となります。  
詳しくは当団体ホームページへ

## 問合せ先

NPO 法人 道普請人  
事務局: 福林良典  
Tel: 075-343-7244  
E-mail: info@coreroad.org  
URL: <http://coreroad.org/>



## 2016 年度下半期活動内容

主な活動	2016			2017		
	10	11	12	1	2	3
<b>ケニア</b>						
外務省H27/28年度NGO連携無償資金協力事業（木村、喜田、深田）						
トヨタ環境活動助成、環境保全プロジェクト（木村、喜田、深田）						
国連人間居住計画（UNHABITAT）事業、NPO法人ピースウィンズジャパンとの難民・地元住民支援事業（喜田、深田）						
JICA, SHEPLUS 市場志向型農業振興プロジェクト（木村、福林）						
<b>タンザニア</b>						
在タンザニア日本大使館草の根無償資金協力事業での道路改修施工監督（木村、酒井、田川、福林）	—			—		
<b>ブルキナファソ</b>						
外務省H27年度NGO連携無償資金協力事業（木村、森重、酒井、田川、福林）						
<b>エチオピア</b>						
理事長を研究代表者とする科研事業での現地調査（木村、福林）				—		
<b>ミャンマー</b>						
外務省H27/28年度NGO連携無償資金協力事業（木村、酒井、田中、堀内、田川）			—	—	—	
日本国際協力財団助成、土のうを利用したため池、土壌流出防止対策（木村、酒井、田中、堀内、田川）						
<b>東ティモール</b>						
JICA 東ティモール国立大学工学部支援事業（福林）					—	
<b>国内</b>						
広報活動（木村、岸田、日下部、田中（稔）、瀧川、児島、福林、酒井、須摩谷）						

農村部の貧困に苦しむ人々の  
やる気と自信を引き出すために  
「自分たちの道は自分たちで直せる」  
という意識を広げたい

## 2016 年度下期活動概要



カクマ難民キャンプでの道路整備状況（ケニア）

### 助成事業等

**事業名：若者グループに対する持続的な雇用創出と自立支援に向けた「土のう」による道路補修事業（第2, 3 フェーズ）**

資金協力団体：外務省、平成 27/28 年度日本 NGO 連携無償資金協力

事業期間：2015 年 11 月から 2016 年 11 月（第 2 フェーズ）

：2016 年 11 月から 2017 年 11 月（第 3 フェーズ）（**ケニア**）

**事業名：次世代に資源を残すために地域で取組む東アフリカ最大のマウ天然林保全プロジェクト**

助成団体：「トヨタ環境活動助成プログラム」2015 年度

事業期間：2016 年 1 月から 2017 年 12 月（**ケニア**）

**事業名：カロベエイ居住区コミュニティ・難民への土のうによる道路整備・園芸生産に関する技能向上プロジェクト**

委託団体：国連人間居住計画（UNHABITAT）事業、NPO 法人ピースウィンズジャパン

事業期間：2016 年 10 月から 2017 年 3 月（**ケニア**）

**事業名：農民組織の持続的な活性化に向けた「土のう工法」を用いた農道改築事業 第2フェーズ**

資金協力団体：外務省、平成 27 年度日本 NGO 連携無償資金協力

事業期間：2016 年 2 月から 2017 年 2 月（**ブルキナファソ**）

**事業名：農道整備と環境保全型農業普及による農村コミュニティ開発**

資金協力団体：財団法人日本国際協力財団

事業期間：2016 年 4 月から 2017 年 3 月（**ルワンダ**）

**事業名：Project for the Road Rehabilitation of Mkoma II Sokoni-Lihanga via Chimemena hill to Mkungu Road in Newala District, Mtwara Region**

資金協力団体：在タンザニア日本大使館、草の根無償資金協力

事業期間：2016 年 4 月から 2017 年 3 月（**タンザニア**）

**事業名：東ティモール国立大学工学部能力向上プロジェクト 2**

委託団体：JICA

事業期間：2017 年 2 月（**東ティモール**）

**事業名：農村部における住民グループを対象とした未舗装道路整備能力強化事業**

資金協力団体：外務省、平成 27 年度日本 NGO 連携無償資金協力

事業期間：2015 年 12 月から 2016 年 12 月（**ミャンマー**）

**事業名：ミャンマー中央乾燥地帯における住民参加による土のうを利用した水土保全活動**

資金協力団体：財団法人日本国際協力財団

事業期間：2016 年 4 月から 2017 年 3 月（**ミャンマー**）



認定 NPO 法人 **みちぶしんびと 道普請人**



主な広報活動

日程	内容
10月2日、 11月20日	ABC 朝日放送ラジオ「ちょっといい話」に、木村理事長が出演しました。
10月11日	国際協力キャリアガイド2016～2017（国際開発ジャーナル社）の「巻頭インタビュー×7人、Global に生きる」で福林理事のインタビュー記事が掲載されました。
2月17日	ODA メールマガジン第343号、シリーズ「国際機関と開発協力」第5弾、「ILO の取組と日本の貢献」中に、道普請人のケニアでの活動が紹介されました。
2月21日	テレビ朝日「世界の村で発見！こんなところに日本人」にて、ケニアでの活動が放送されました。
3月1日	国際開発ジャーナル9月号「論説委員の視点」に NGO 運営に関する木村理事長の論説が掲載されました。

活動報告

ブルキナファソ

- 1. 土のう工法のみならず、雨季に水没する箇所では路面を栗石敷設+コンクリートで補強しました。
- 2. 在ブルキナファソ日本大使にも出席いただき、竣工式を行いました。
- 3. インフラ省専門学校に対し、事業成果を発表しました。



ウラテンガ村での土のうを利用した盛土工施工の様子



ファラバ村、栗石+コンクリートによる水没箇所の路面補強（沈下橋）



大使を迎えての竣工式

インフラ省専門学校への研修

タンザニア

急坂の区間(約 550 m)の、コンクリート舗装を行いました(在タンザニア日本国大使館 草の根無償資金協力事業、ムトワラ州)。



コンクリート舗装の様子



施工前



大使館次席を迎えての竣工式



施工後

ケニア

- 1. ケニア西部ブシアカウンティにて、雇用促進に有効な技能として、土のう工法を若者グループに実地研修しました。
- 2. 整備道路沿線の小学校にて、公共心の醸成に向けた環境教育を実施しました。
- 3. ナクルカウンティにて、アグロフォレストリー研修を行いました。
- 4. トウルカナカウンティ、カクマにて、難民キャンプと地元住民のための土のう工法研修を通した生活インフラ整備を行いました。



小学校での出前授業後、寄贈したゴミ箱を利用し清掃活動を行う様子



地元住民への道路整備研修



カウンティエンジニアによる指導状況

ミャンマー



土のうによる、盛土法面保護



カルバート設置



ネピドー連邦領、地域開発局職員やエンジニアへの工法紹介



ネピドー連邦領、地域開発局職員やエンジニアへのデモ研修

- 1. 土のう工法、盛土、コンクリート舗装、カルバート設置など多様な工種を駆使し、住民とともに農道改修が行われました。
- 2. 地域開発局に対し、この3年間に実施してきた工法の紹介、研修が行われました。

施工延長(2017年3月末日現在)

	累計(m)	2016年度下期(m)
ケニア	28,208	1,631
ブルキナファソ	5,409	1,857
ミャンマー	18,187	0
タンザニア	1,446	280
その他(バングラディッシュ、ザンビア、フィリピン、ハブアニューギニア、ソマリア、他)	95,544	0
合計	148,794	3,768

道普請人は認定 NPO 法人です。 問合せ先

京都市より「運営組織及び事業活動が適正であり公益の増進に資する」と認定を受けました。  
当団体へのご寄付は税制優遇の対象となります。  
詳しくは当団体ホームページへ

NPO 法人 道普請人  
事務局: 福林良典  
Tel: 075-343-7244  
E-mail: info@coreroad.org  
URL: <http://coreroad.org/>